

ベトナム企業と首相との対話会議

中川 良一

2017年5月17日、ベトナム政府は「国際会議場において、企業と共に」と題し、首相および各省大臣が出席する大規模なベトナム企業との対話会議を開催しました。



<2016年は起業・創業の年>

2016年、グエン・スアン・フック首相が就任し、2016年から2021年までの新たな体制がスタートしました。新政府は、2016年はベトナムの起業・創業の年として「政府は企業を賛美し、企業が発展するために企業の困難を時宜的に解決する。企業は若い世代をはじめ、ベトナム国民のものである。」と表明しています。

そのため、2016年はベトナム民間企業の新設が過去最高となり、2016年11月末時点の11カ月間の新規企業が約10万2,000社となりました。

<企業発展に重点>

新政権発足より1年が経過し、企業からの直接の声を聞くことを目的として会議を開催し、ハノイの国際会議場には1,000名近くの企業経営者および国際関係機関の代表者が参加しました。

午前7:30から首相スピーチ、計画投資省大臣、商工会議所会頭、官房長官等各省庁トップのスピーチが行われ、ベトナム政府がベトナム企業への最大の支援を行っていくことが表明され、昨年実施された各省庁による行政改革等の進行状況が発表されました。

また、ベトナム各地方をテレビ中継でつなぎ、全国一体となった対話型の会議となりました。政府側からの発表の後に、参加企業経営者から問題点や政府への要望事項について発言があり、その対応の会議が、午後、政府幹部により開催され、開催当日中に対応策を公表すると発表しました。ベトナム政府が今後も企業発展に重点をおき、スピーディーに問題解決に対処することを、実際に行動で示すイベントとなっています。

<企業からベトナム首相への提案内容>

- 日本人商工会：法律規制のさらなる明確化について要望。
- ベトナム高速道路関係企業：高速道路建設への投資は、国内銀行から十分な融資が受けられないため、海外パートナーと組み、オフショア融資にて建設しているが、借入時と返済時の為替レートの差により、投資回収期間が大幅に遅れている。BOT認可期間の見直しができるよう調整を要望。
- 飼料製造業者：豚価格の大幅下落により、養豚業者ならびに周辺関連業者も非常に難しい局面となっている。輸出促進や価格安定のための支援ならびに加工工場の投資促進がされるような施策を要望。

- 乳製品企業：乳幼児用ミルクの品質基準についての管理強化、及び一般の乳飲料には品質基準が無いため、早急に基準を決めるよう要望。
- 医療法人：政府は、国営病院施設内で民間病院の開業を許可することを検討しているが、これは、民間医療のビジネス上での不公平な環境を作ることとなるため、中止を要望。
- ベトナム裾野産業組合：以前よりは減ったものの、合法的でない費用負担が中小企業を苦しめているので早急な改善を要望。特に、特殊な許認可を政府より得るときなどで必要となる。
- HSBC 銀行：外国企業とベトナム企業の協力関係促進、投資環境整備を要望。
そのほか、企業からは TPP についても、ベトナムは積極的に前進させるべきだと思う、というような発言がされました。
後日あらためて、政府の回答結果をお知らせします。